

令和8年県の施策に関する県民意識調査結果(概要)

1 調査の目的

「いわて県民計画(2019～2028)」に基づいて実施する県の施策について、県民がどの程度の重要性を感じ、現在の状況にどの程度満足しているか、また、どの程度幸福度を感じているか等を把握し、今後、県が重点的に取り組むべき施策の方向性等を明らかにすることを目的とする。

2 調査の概要

- (1) 調査対象 県内に居住する18歳以上の個人
- (2) 調査対象者数 5,000人
- (3) 抽出方法 選挙人名簿からの層化二段無作為抽出
- (4) 調査方法 設問票によるアンケート調査(郵送法)
- (5) 調査時期 令和8年1～2月(毎年調査)
- (6) 調査項目
 - ア 生活全般の満足度
 - イ 「いわて県民計画(2019～2028)」の10の政策分野に関連する57項目に係る重要度、満足度について
 - ウ 幸福度
 - エ 家事時間及び生活時間
 - オ 県民の普段の行動
- (7) 回収者数 3,318人
- (8) 有効回収率 66.4%
- (9) 回答者の属性

【性別】	回答者数	割合
男性	1,593	(48.0)
女性	1,712	(51.6)
その他	4	(0.1)
不明	9	(0.3)

【年齢別】	回答者数	割合
18～19歳	37	(1.1)
20～29歳	172	(5.2)
30～39歳	252	(7.6)
40～49歳	421	(12.7)
50～59歳	546	(16.5)
60～69歳	686	(20.7)
70歳以上	1,204	(36.3)
不明	0	(0.0)

【居住地別】	回答者数	割合
県央広域振興圏	992	(29.9)
県南広域振興圏	1,000	(30.1)
沿岸広域振興圏	767	(23.1)
県北広域振興圏	559	(16.8)

【職業別】	回答者数	割合
自営業主	261	(7.9)
家族従業者	71	(2.1)
会社役員・団体役員	179	(5.4)
常用雇用者	946	(28.5)
臨時雇用者	406	(12.2)
学生	55	(1.7)
専業主婦(主夫)	281	(8.5)
無職	767	(23.1)
その他	97	(2.9)
不明	255	(7.7)

【子どもの数別】	回答者数	割合
1人	425	(12.8)
2人	1,088	(32.8)
3人	612	(18.4)
4人	85	(2.6)
5人以上	27	(0.8)
子どもはいない	750	(22.6)
不明	331	(10.0)

【居住年数別】	回答者数	割合
10年未満	101	(3.0)
10～20年未満	130	(3.9)
20年以上	2,827	(85.2)
不明	260	(7.8)

()内は%

(注)
小数点第1位未満四捨五入の関係から、内訳の計が100%にならない場合があります。

3 用語の解説

重要度(平均)：「重要」を5点、「やや重要」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重要でない」を2点、「重要でない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

満足度(平均)：「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

ニーズ度：重要度(平均)－満足度(平均)

4 その他

本調査結果は、下記の調査統計課ホームページからダウンロードできます。

<https://www2.pref.iwate.jp/~stat>

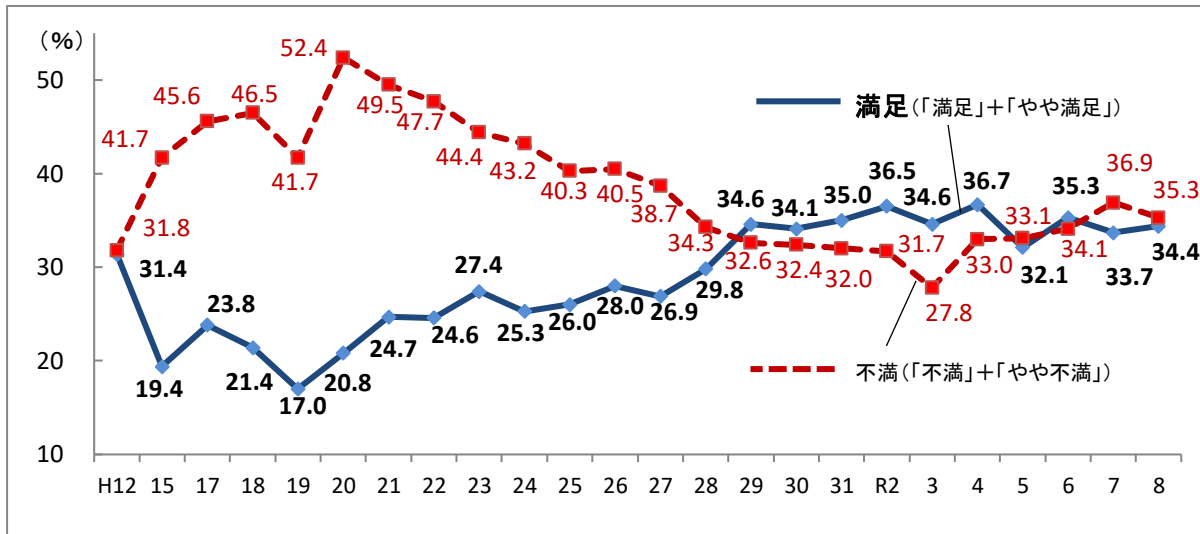
■調査結果の概要■

問1 あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

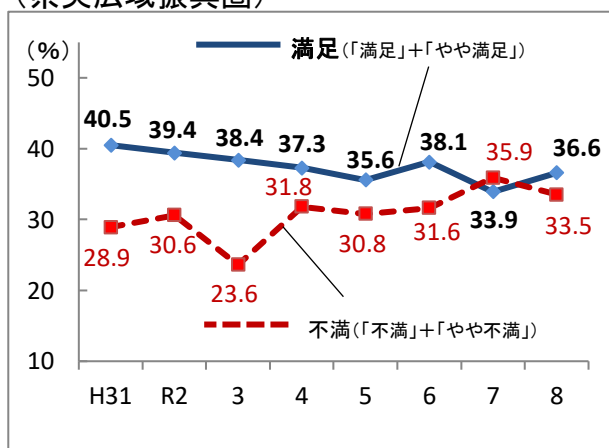
前回と比べて不満の割合が1.6ポイント減少

- 県計では、満足（「満足」＋「やや満足」）の割合が34.4%となっており、不満（「不満」＋「やや不満」）の割合は35.3%となっている。
- また、令和7年調査と比較すると、満足の割合は33.7%から0.7ポイント増加し、不満の割合は36.9%から1.6ポイント減少している。
- 広域振興圏別にみると、満足の割合は、県南、沿岸で減少している一方で、県央、県北では増加している。不満の割合は、沿岸で増加している一方で、それ以外の3広域振興圏では減少している。

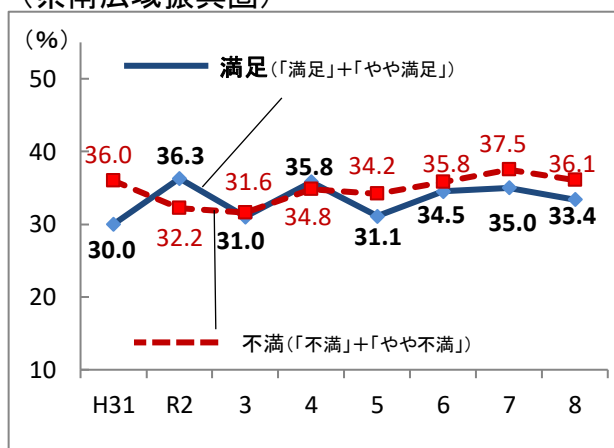
(県計)



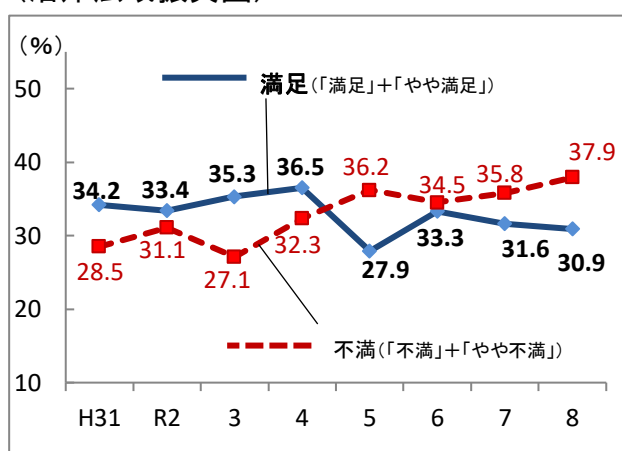
(県央広域振興圏)



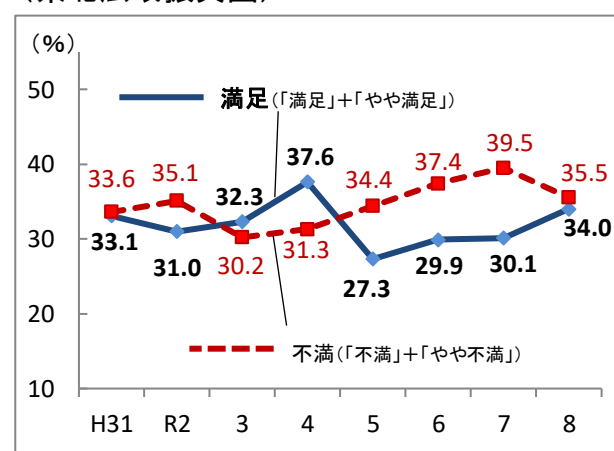
(県南広域振興圏)



(沿岸広域振興圏)



(県北広域振興圏)



問2 あなたの暮らしにとって、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要と考えますか。
あなたの現在の暮らしからみて、調査項目の状態についてどれくらい満足していますか。

【重要度】

- 重要度の高い項目は、「交通事故の少ない社会づくり」、「犯罪への不安の少ない社会づくり」、「適切な医療体制」などとなっている。
- 一方、「日常的に文化芸術に親しむ機会」、「外国人も暮らしやすい社会」、「身近な地域でスポーツを楽しむ機会」などの項目が重要度が低くなっている。

重要度が高い項目

順位	(参考) R7年 順位	10の 政策 分野	項目 番号	項目
1	1	⑤	31	交通事故の少ない社会づくり
2	2	⑤	30	犯罪への不安の少ない社会づくり
3	5	①	3	適切な医療体制
4	6	⑨	53	災害に強く安心して暮らせる県土
5	3	⑤	32	消費者トラブルへの適切な相談や支援

※ 項目は設問文を要約して記載。

【満足度】

- 満足度の高い項目は、「県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍」、「ごみ減量やリサイクルの定着」、「適切な医療体制」などとなっている。
- 一方、「農林水産業の担い手確保」、「商店街のにぎわい」、「安定した就職環境」などの項目が満足度が低くなっている。

満足度が高い項目

順位	(参考) R7年 順位	10の 政策 分野	項目 番号	項目
1	1	③	21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍
2	2	⑧	49	ごみ減量やリサイクルの定着
3	3	①	3	適切な医療体制
4	4	⑤	33	購入する食品の安全性に不安を感じない社会
5	12	⑤	34	感染症に対する備えが整っている社会

【ニーズ度】

- ニーズ度の高い項目は、「安定した就職環境」、「農林水産業の担い手確保」、「商店街のにぎわい」などとなっている。
- 一方、「日常的に文化芸術に親しむ機会」、「身近な地域でスポーツを楽しむ機会」、「県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍」などの項目がニーズ度が低くなっている。

ニーズ度が高い項目

順位	(参考) R7年 順位	10の 政策 分野	項目 番号	項目
1	1	⑥	35	安定した就職環境
2	3	⑥	42	農林水産業の担い手確保
3	4	⑥	36	商店街のにぎわい
4	2	④	24	公共交通機関の維持・確保
5	5	③	17	いじめや不登校への適切な対処

10の政策分野

①「健康・余暇」、②「家族・子育て」、③「教育」、④「居住環境・コミュニティ」、⑤「安全」、
⑥「仕事・収入」、⑦「歴史・文化」、⑧「自然環境」、⑨「社会基盤」、⑩「参画」

重要度が低い項目

順位	(参考) R7年 順位	10の 政策 分野	項目 番号	項目
57	57	①	5	日常的に文化芸術に親しむ機会
56	54	④	27	外国人も暮らしやすい社会
55	56	①	6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会
54	55	⑨	51	外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組
53	51	④	28	文化芸術・スポーツを生かした地域づくり

満足度が低い項目

順位	(参考) R7年 順位	10の 政策 分野	項目 番号	項目
57	56	⑥	42	農林水産業の担い手確保
56	57	⑥	36	商店街のにぎわい
55	54	⑥	35	安定した就職環境
54	55	④	24	公共交通機関の維持・確保
53	51	⑥	43	ニーズにあった農林水産物の産地形成

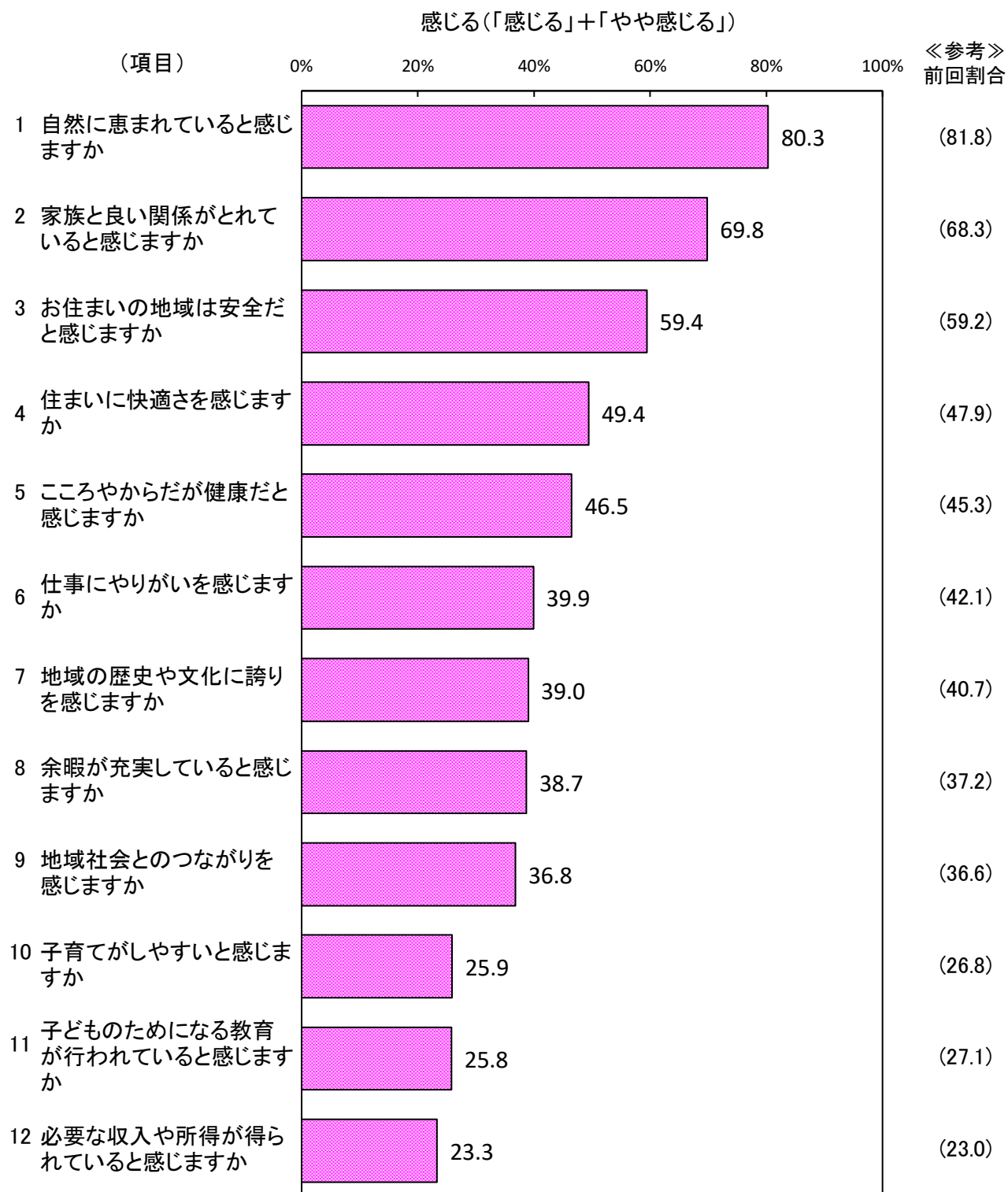
ニーズ度が低い項目

順位	(参考) R7年 順位	10の 政策 分野	項目 番号	項目
57	57	①	5	日常的に文化芸術に親しむ機会
56	56	①	6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会
55	55	③	21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍
54	52	④	27	外国人も暮らしやすい社会
53	54	①	1	身体の健康に関する相談・指導

問3 県では、「お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」の実現に向けてさまざまな取組を推進しています。希望郷いわての実現のため、あなたの「幸福」に関する行動や考え方等についてお伺いします。

問3-1 現在のあなたご自身のことについて、おたずねします。

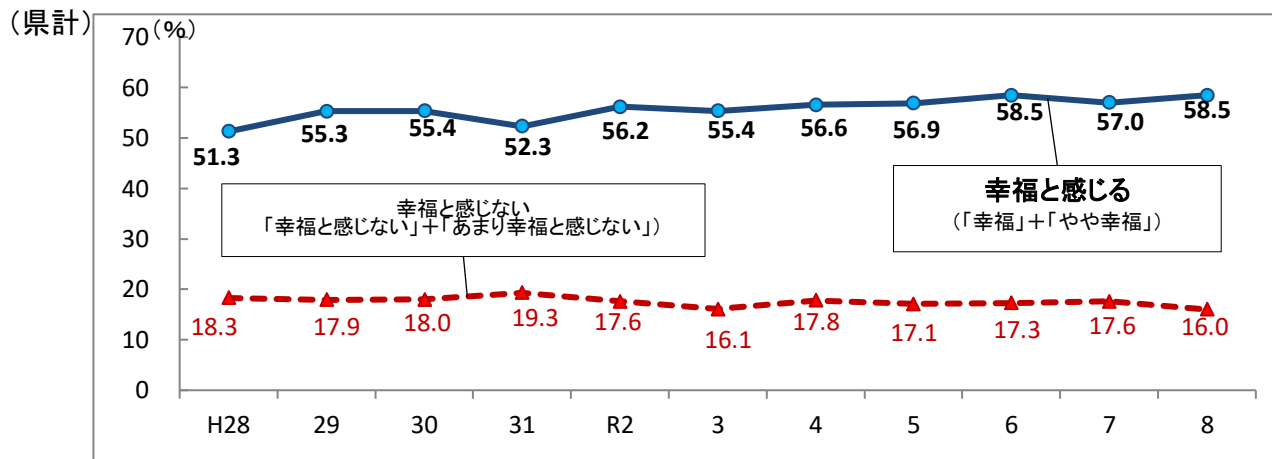
○「感じる」(「感じる」+「やや感じる」)の割合が高いのは、「自然に恵まれていると感じますか」の80.3%、「家族と良い関係がとれていると感じますか」の69.8%、「お住まいの地域は安全だと感じますか」の59.4%などとなっている。



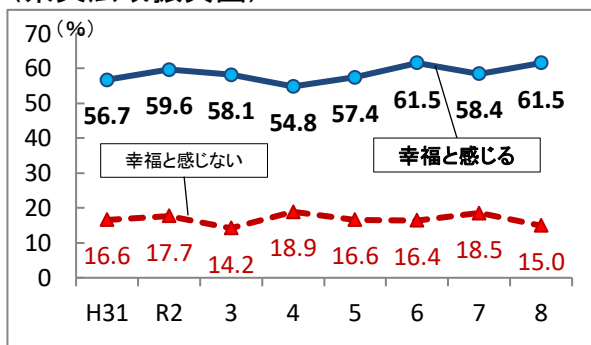
問3-2 あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

幸福と感じる割合が5割台後半、全ての広域振興圏で50%以上

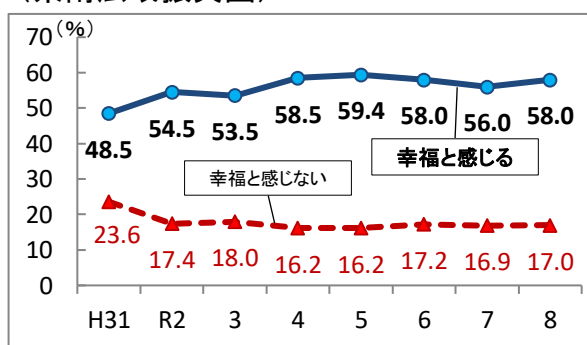
- 県計では、幸福と感じる割合は58.5%となっており、前回と比較すると1.5ポイント増加している。
- 広域振興圏別に前回と比較すると、幸福と感じる割合は、沿岸及び県北では減少し、県央及び県南では増加している。幸福と感じない割合は、県央、沿岸及び県北で減少し、県南で増加している。



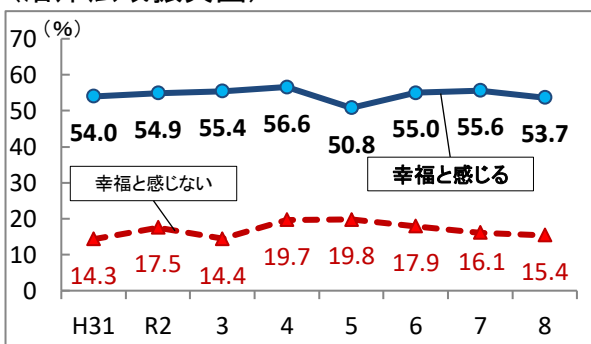
(県央広域振興圏)



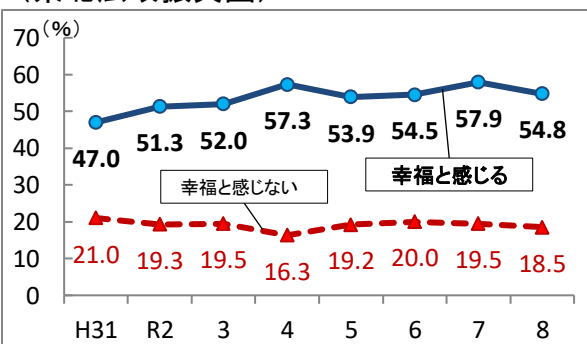
(県南広域振興圏)



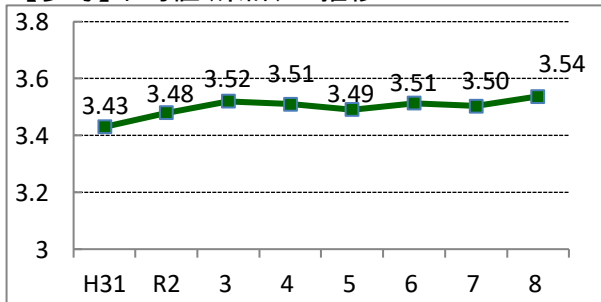
(沿岸広域振興圏)



(県北広域振興圏)



【参考】平均値(県計)の推移



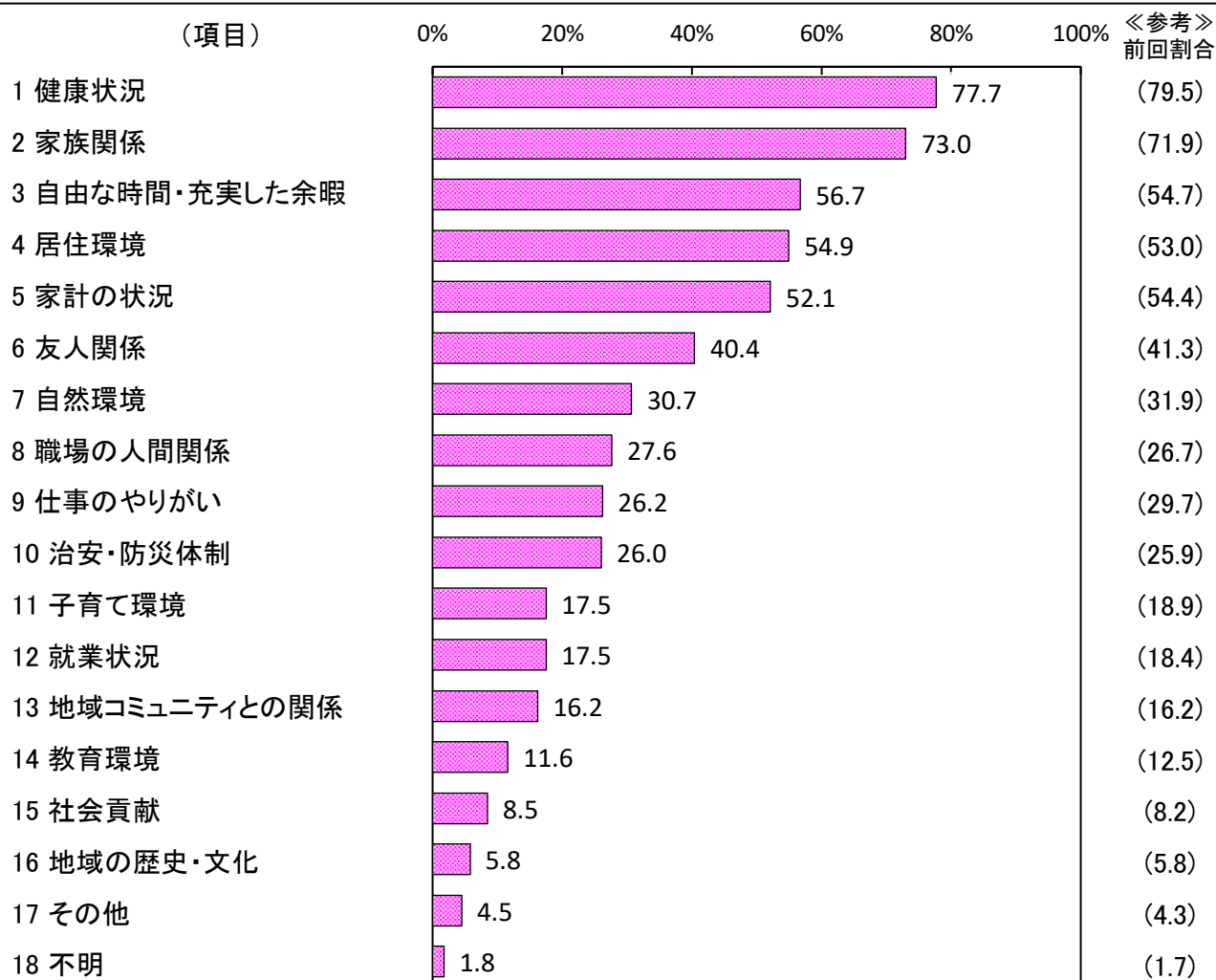
・平均値について

岩手県総合計画審議会「県民の幸福感に関する分析部会」で活用している主観的幸福感の平均値のこと。

「幸福だと感じる」から「幸福だと感じない」までの5段階の選択肢に応じて5点から1点を配点すると、県全体の平均値は5点満点中3.54点となりました。

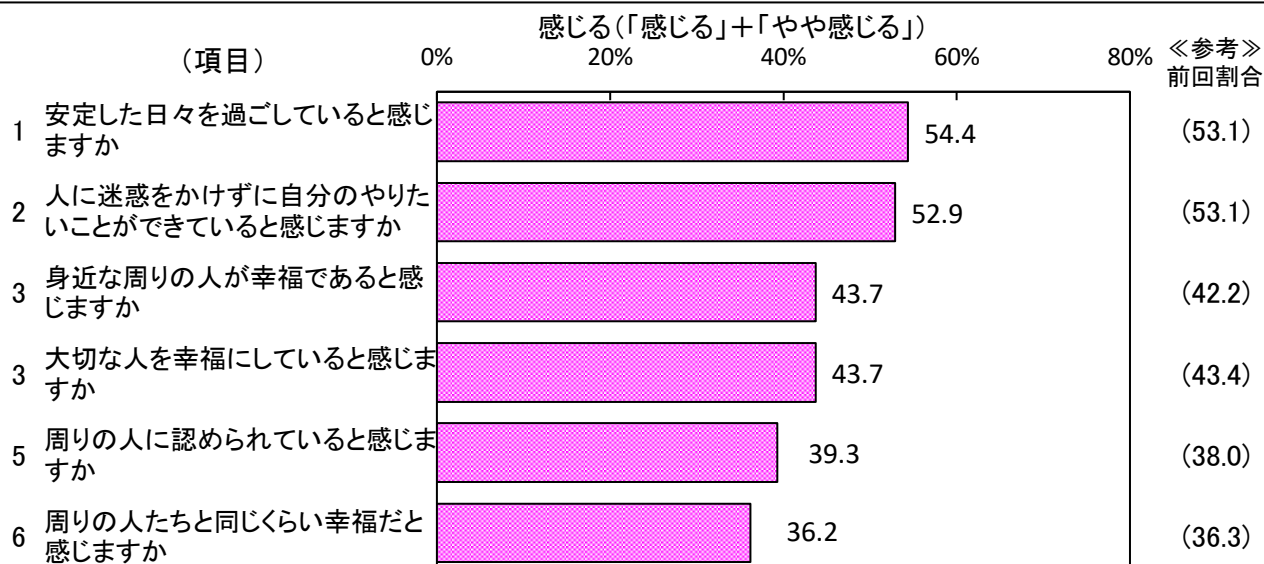
問3-3 あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項は何ですか。

- 幸福かどうか判断する際に重視すると回答した人の割合が高いのは、「健康状況」の77.7%、「家族関係」の73.0%などとなっている。



問3-4 身近な周りの人の幸福等について、あなたの実感をおたずねします。

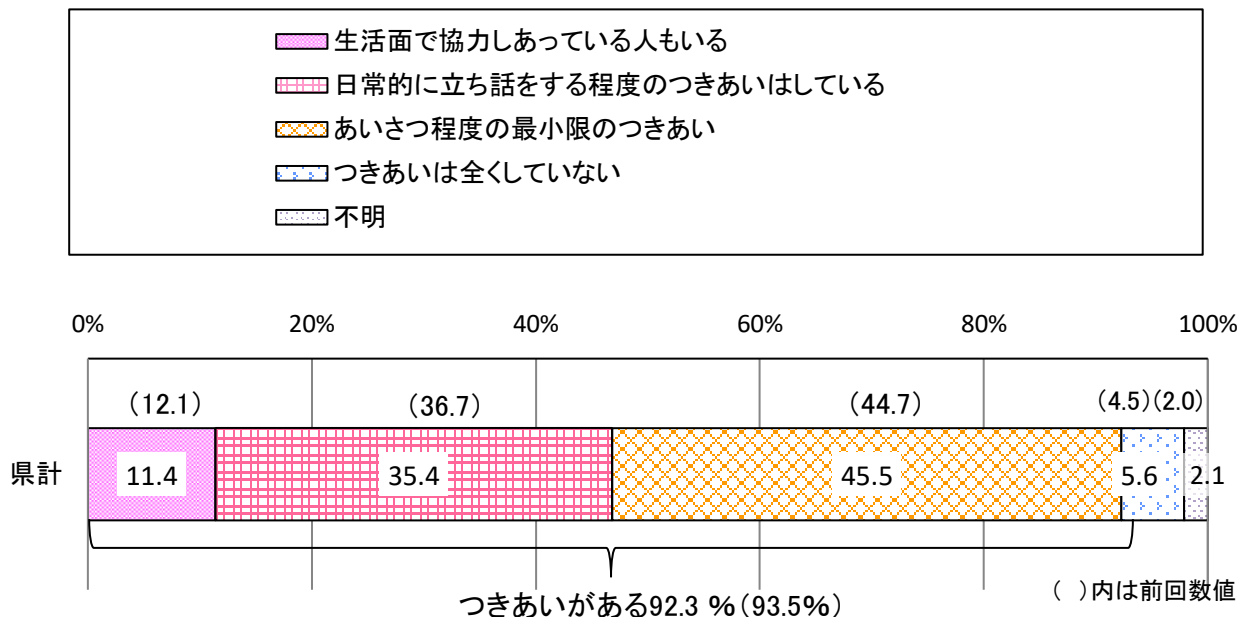
- 「感じる」(「感じる」+「やや感じる」)の割合が高いのは、「安定した日々を過ごしていると感じますか」の54.4%、「人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができていると感じますか」の52.9%などとなっている。



問4 県では、幸福に関連する項目として、「つきあい・交流」、「信頼」、「社会参加」といった「つながり」に注目しており、ここからはあなたの「つながり」に関する行動や考え方等について伺います。

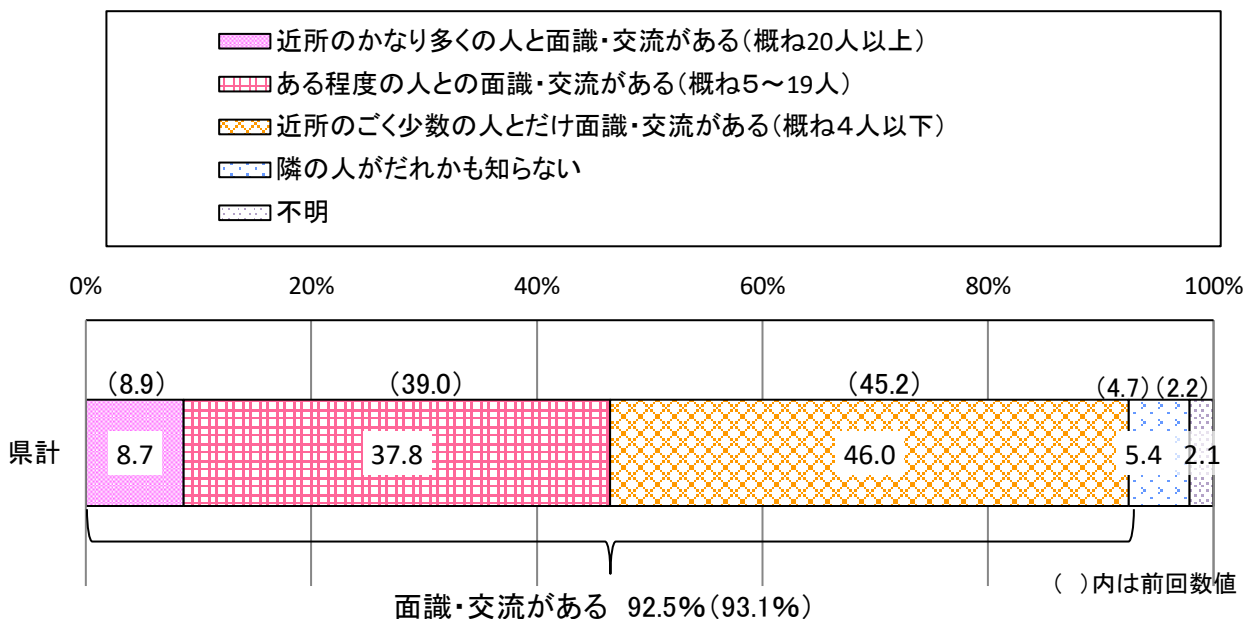
問4-1 あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか。

- ご近所づきあいがある（「生活面での協力」、「立ち話程度のつきあい」、「あいさつ程度のつきあい」）と回答した人の割合は、92.3%となっている。
- 一方、「つきあいは全くしていない」は5.6%となっている。



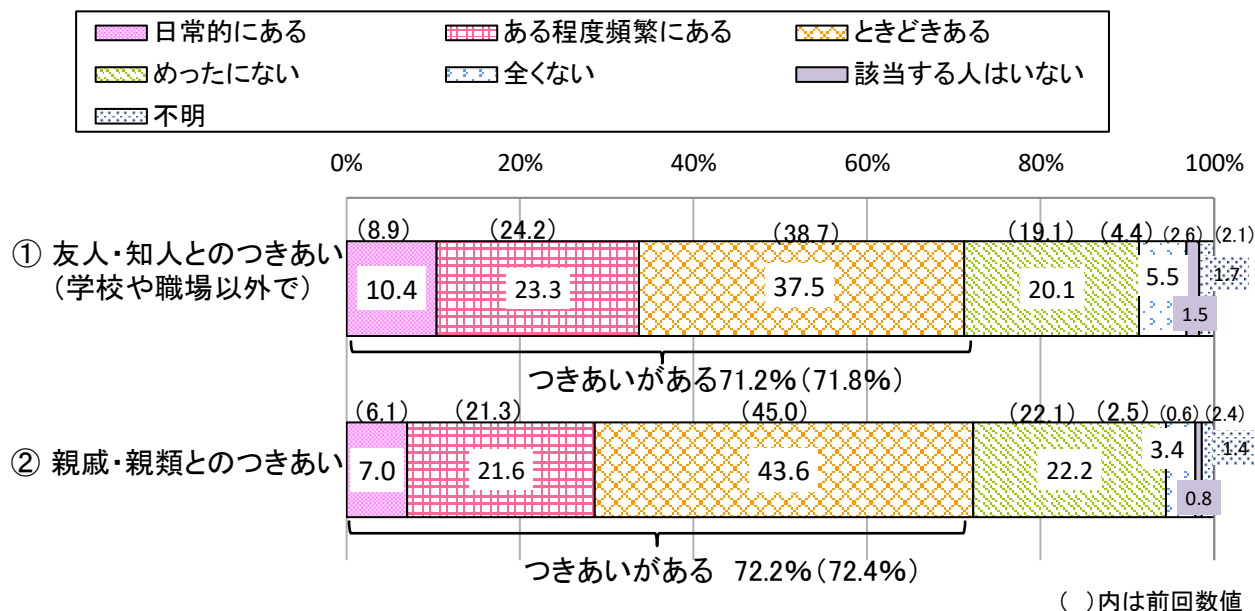
問4-2 つきあっているご近所の方の数は、どのくらいですか。

- 面識・交流がある（「近所のかなり多くの人」、「ある程度の人」、「近所のごく少数の人とだけ」）と回答した人の割合は、92.5%となっている。
- 一方、「隣の人がだれかも知らない」は5.4%となっている。



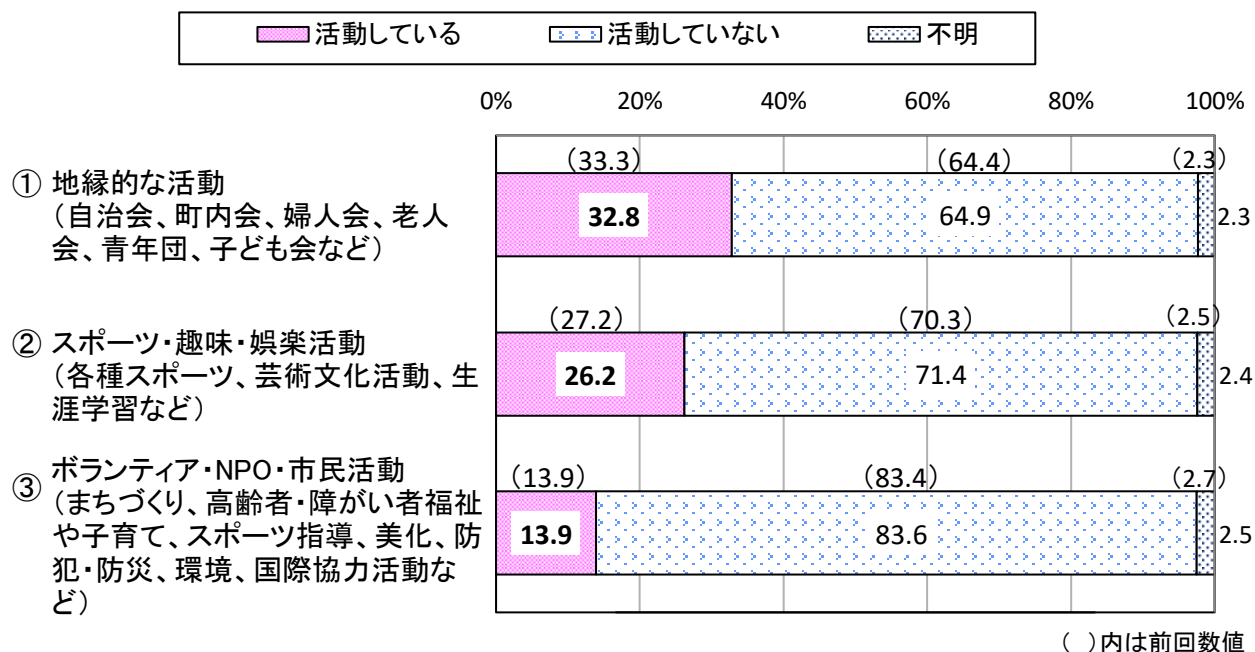
問4-3 あなたは、①友人・知人、②親戚・親類とどのようなつきあいをされていますか。

- 友人・知人等とのつきあいがある(「日常的にある」、「ある程度頻繁にある」、「ときどきある」と回答した人の割合は、「友人・知人」では71.2%、「親戚・親類」では72.2%となっている。
- 最も割合の高いつきあいの程度は、「友人・知人」では「ときどきある」の37.5%、「親戚・親類」では「ときどきある」の43.6%となっている。



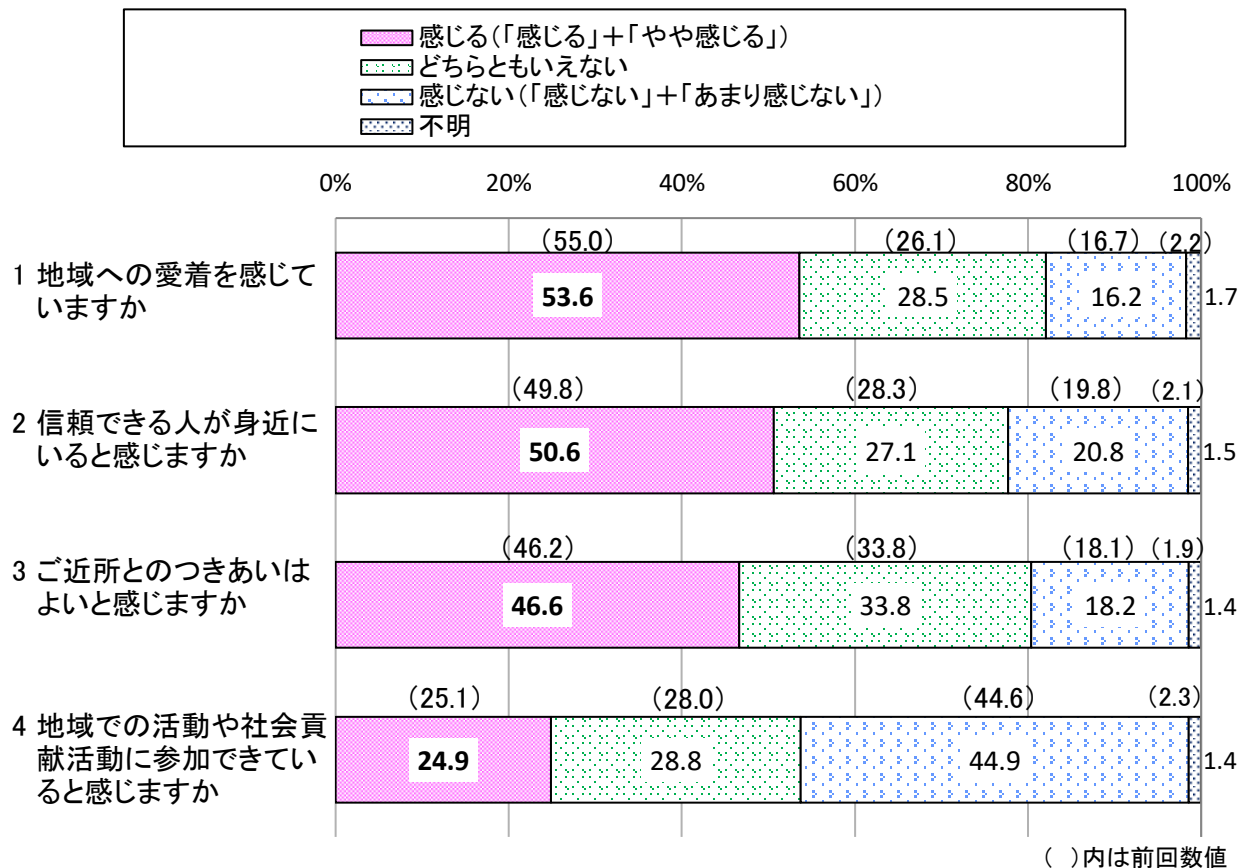
問4-4 あなたは現在、①地縁的な活動、②スポーツ・趣味・娯楽活動、③ボランティア・NPO・市民活動をされていますか。

- 地縁的な活動をしている人は32.8%、スポーツ・趣味・娯楽活動をしている人は26.2%、ボランティア・NPO・市民活動をしている人は13.9%となっている。



問4－5 あなたのお住まいの地域(小・中学校区から市町村の範囲)に対する実感をおたずねします。

- 地域への実感は、割合の高い順に、「地域への愛着を感じていますか」は53.6%、「信頼できる人が身近にいますか」は50.6%、「ご近所とのつきあいはよいと感じますか」は46.6%、「地域での活動や社会貢献活動に参加できていると感じますか」は24.9%となっている。

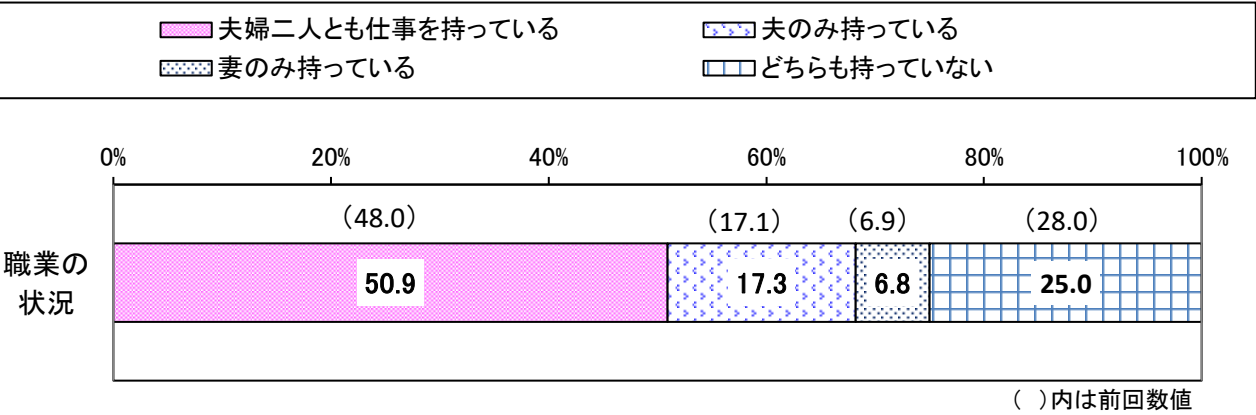


問5 家事関連時間及び生活時間について

【(1)、(2)は夫婦世帯の方のみ回答】

(1) お二人とも職業をお持ちですか。

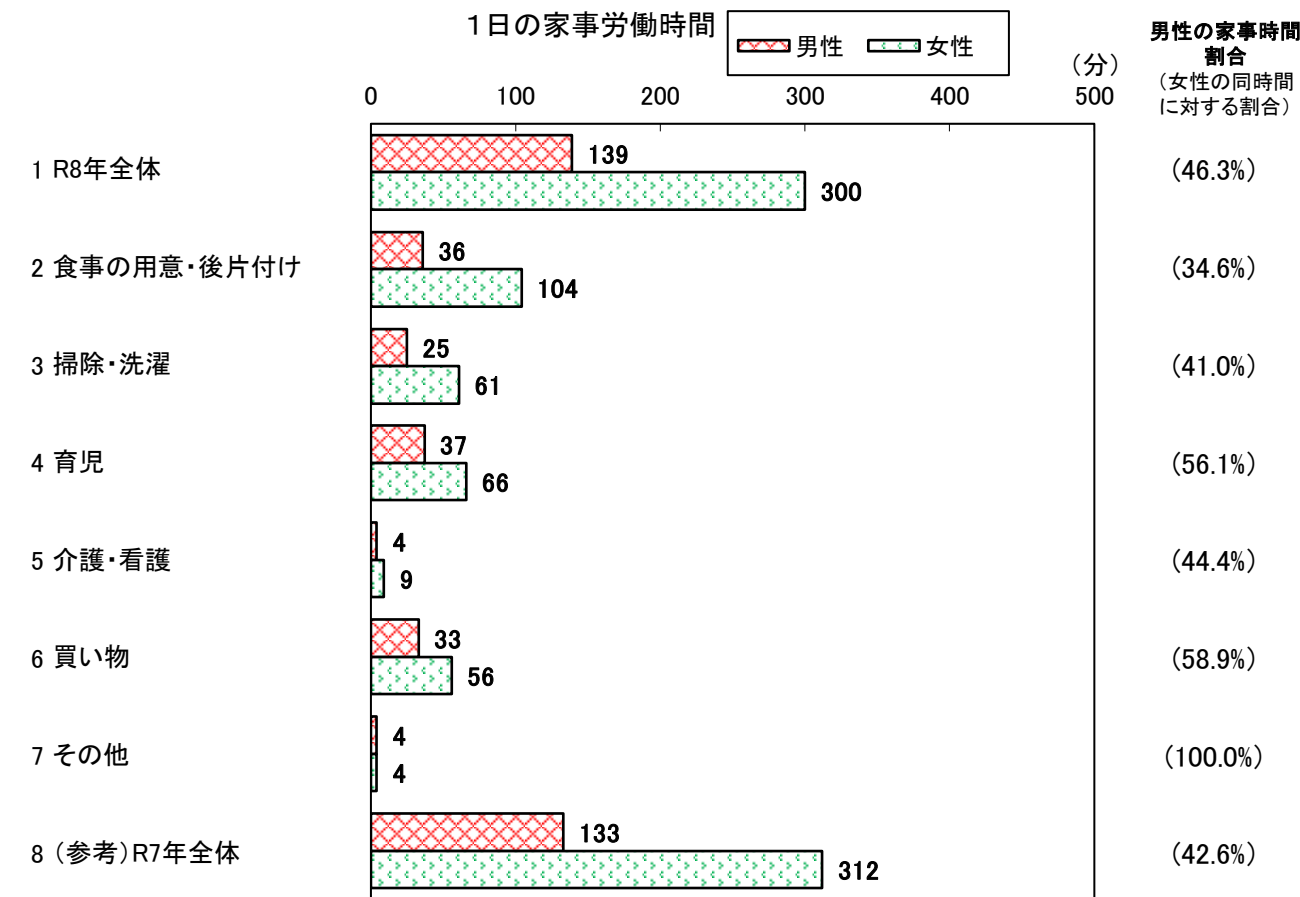
○ 夫婦二人とも仕事を持っている世帯の割合は50.9%となっている。



(2) あなたとあなたの夫(妻)は、普段、どれぐらい家事を行っていますか。

【夫婦二人とも仕事を持っている世帯】

○ 共働き世帯の「夫」の家事労働時間は139分、「妻」の家事労働時間は300分となっており、「夫」の家事労働時間は「妻」の46.3%となっている。



※ ()は、男性の家事時間割合(女性の家事時間に対する割合)。

(3) あなたは、普段の生活で、以下の行動をどのくらいの時間行っていますか。

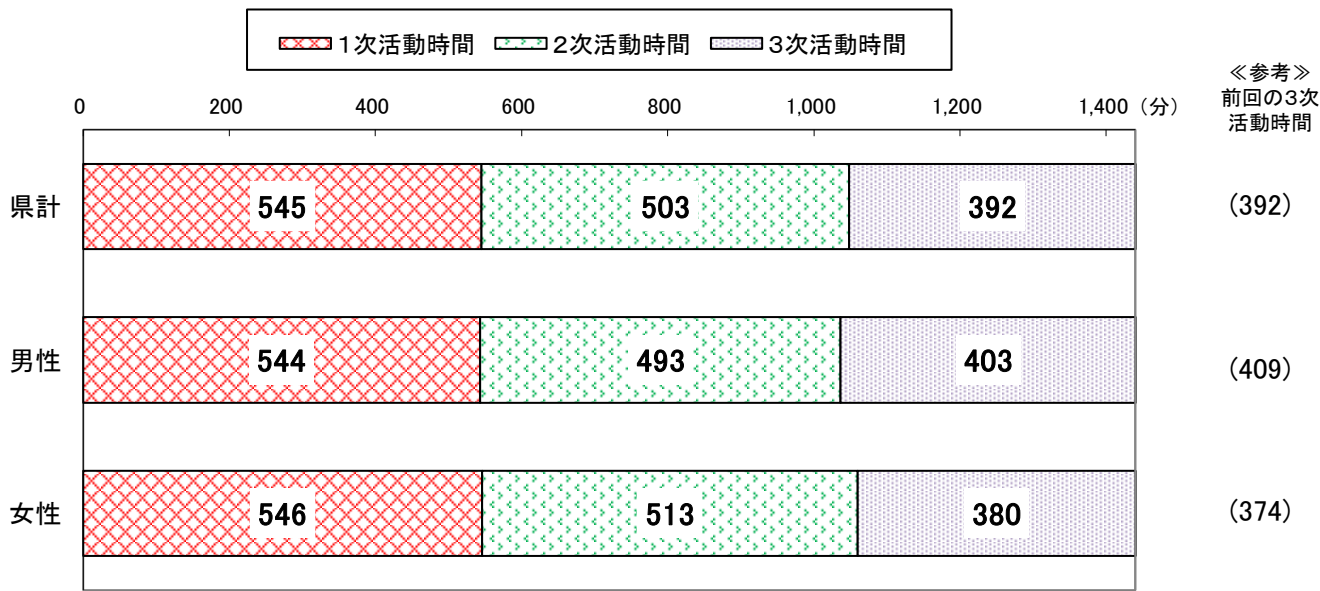
○ 1日当たりの行動の内容は、1次活動時間が545分(9時間5分)、2次活動時間が503分(8時間23分)、3次活動時間が392分(6時間32分)となっている。

- 1次活動:睡眠、食事など生理的に必要な活動

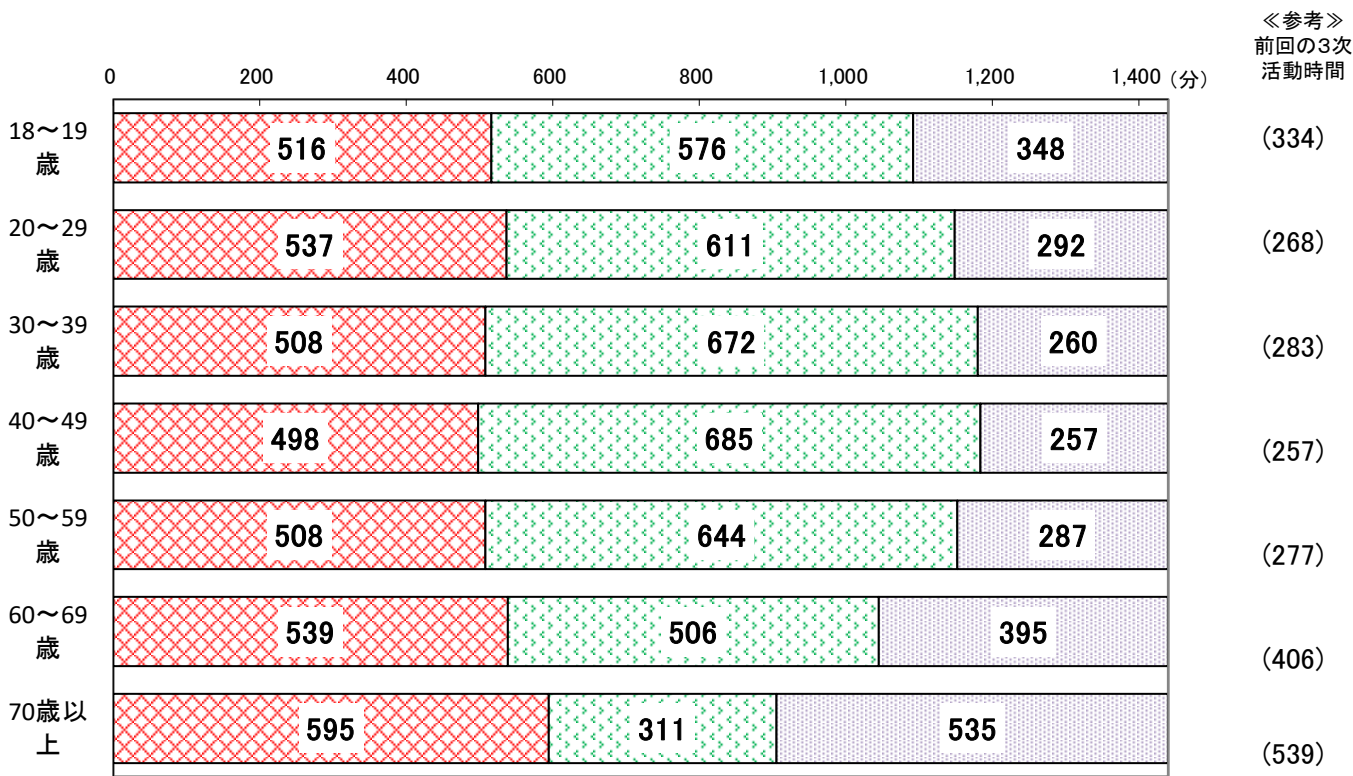
2次活動:仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動

3次活動:1次活動、2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動

ア 県計及び男女別



イ 年代別



(参考1)問2の各調査項目一覧(重要度、満足度、ニーズ度得点)

10の政策分野	No.	項 目	重要度	順位	満足度	順位	ニーズ度	順位
①健康・余暇 (○)	1	身体の健康に関する相談・指導	3.679	52	3.209	7	0.470	53
	2	心の健康に関する相談・支援	3.698	51	3.110	18	0.589	51
	3	適切な医療体制	4.644	3	3.335	3	1.309	29
	4	住み慣れた地域で生活できる環境	4.382	24	3.003	31	1.378	23
	5	日常的に文化芸術に親しむ機会	3.244	57	3.048	25	0.195	57
	6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会	3.360	55	3.018	30	0.342	56
	7	自分に適した内容や方法で学べる環境	3.859	46	2.970	35	0.888	44
②家族・子育て (●)	8	安心な子育て環境整備	4.417	18	2.940	38	1.477	14
	9	子どもの育ちと学びに関する学校、家庭、地域の連携	4.295	28	3.072	23	1.223	34
	10	地域全体での青少年の健全育成	4.108	37	3.032	27	1.076	38
	11	仕事と生活を両立できる環境	4.459	16	2.878	43	1.581	10
	12	ペットなど動物のいのちを大切にする社会	4.012	43	3.181	11	0.831	46
③教育 (△)	13	子どもの学力向上に向けた教育	4.398	22	3.042	26	1.356	24
	14	人間性豊かな子どもの育成	4.584	8	3.081	22	1.503	13
	15	子どもの体力向上や心身の健康保持	4.414	20	3.167	12	1.247	32
	16	全ての子どもが学べる環境	4.414	19	3.023	29	1.391	22
	17	いじめや不登校への適切な対処	4.613	6	2.724	50	1.889	5
	18	子どもが安全・安心に学ぶことができる環境	4.566	9	3.161	13	1.405	19
	19	特色ある私学教育の充実	3.718	50	3.030	28	0.688	49
	20	次世代を担う人材育成	4.273	29	2.963	36	1.310	28
	21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍	4.023	42	3.670	1	0.353	55
	22	大学の地域社会貢献	4.145	35	3.112	16	1.032	39
④居住環境・コミュニティ (▲)	23	生活基盤整備などが進んだ生活環境	4.532	11	2.697	52	1.835	6
	24	公共交通機関の維持・確保	4.404	21	2.482	54	1.922	4
	25	つながりや活力を感じられる地域コミュニティ	3.824	48	2.954	37	0.870	45
	26	移住・定住を増やすための取組	3.842	47	2.734	48	1.108	37
	27	外国人も暮らしやすい社会	3.331	56	2.888	41	0.443	54
	28	文化芸術・スポーツを生かした地域づくり	3.660	53	3.052	24	0.608	50
⑤安全 (◇)	29	地域の協力による防災体制づくり	4.389	23	3.204	8	1.185	36
	30	犯罪への不安の少ない社会づくり	4.698	2	3.090	20	1.609	9
	31	交通事故の少ない社会づくり	4.746	1	3.122	15	1.625	8
	32	消費者トラブルへの適切な相談や支援	4.632	5	2.939	39	1.693	7
	33	購入する食品の安全性に不安を感じない環境	4.558	10	3.335	4	1.224	33
	34	感染症に対する備えが整っている社会	4.595	7	3.278	5	1.317	26
⑥仕事・収入 (◆)	35	安定した就職環境	4.531	12	2.476	55	2.055	1
	36	商店街のにぎわい	4.269	30	2.337	56	1.932	3
	37	中小企業の成長・発展	4.196	33	2.728	49	1.468	15
	38	県内経済の活性化	4.243	31	2.707	51	1.536	12
	39	地域資源を活用した製品開発・販売	4.168	34	2.976	34	1.192	35
	40	海外での県産品の販路拡大	3.788	49	2.880	42	0.908	42
	41	魅力ある観光地づくり	4.075	40	2.815	46	1.260	31
	42	農林水産業の担い手確保	4.327	25	2.336	57	1.991	2
	43	ニーズにあった農林水産物の産地形成	4.127	36	2.697	53	1.430	17
	44	農林水産物の販路拡大	4.229	32	2.835	44	1.394	21
	45	活力ある農山漁村の形成	4.080	39	2.771	47	1.310	27
⑦歴史・文化 (□)	46	世界遺産を守り将来に伝えていくための取組	3.999	44	3.245	6	0.754	48
	47	郷土の歴史や伝統文化が受け継がれる環境	4.037	41	3.133	14	0.904	43
⑧自然環境 (■)	48	自然環境を大切にした生活	4.520	13	3.110	17	1.410	18
	49	ごみ減量やリサイクルの定着	4.480	14	3.513	2	0.967	40
	50	温暖化防止の取組	4.323	26	2.997	32	1.325	25
⑨社会基盤 (＊)	51	外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組	3.396	54	2.817	45	0.579	52
	52	情報通信技術の活用	4.097	38	3.186	10	0.912	41
	53	災害に強く安心して暮らせる県土	4.640	4	3.084	21	1.556	11
	54	交通や物流の拠点に通じる道路整備	4.471	15	3.192	9	1.279	30
	55	社会資本の維持管理	4.442	17	2.991	33	1.451	16
⑩参画 (+)	56	個性と能力を発揮できる社会の実現	4.295	27	2.902	40	1.394	20
	57	市民活動や県民活動に参加しやすい社会	3.897	45	3.093	19	0.803	47
平均			4.196		2.989		1.207	

注)重要度(平均)、満足度(平均)は、時系列で平均の差を検定していくため、標本平均を採用しています。

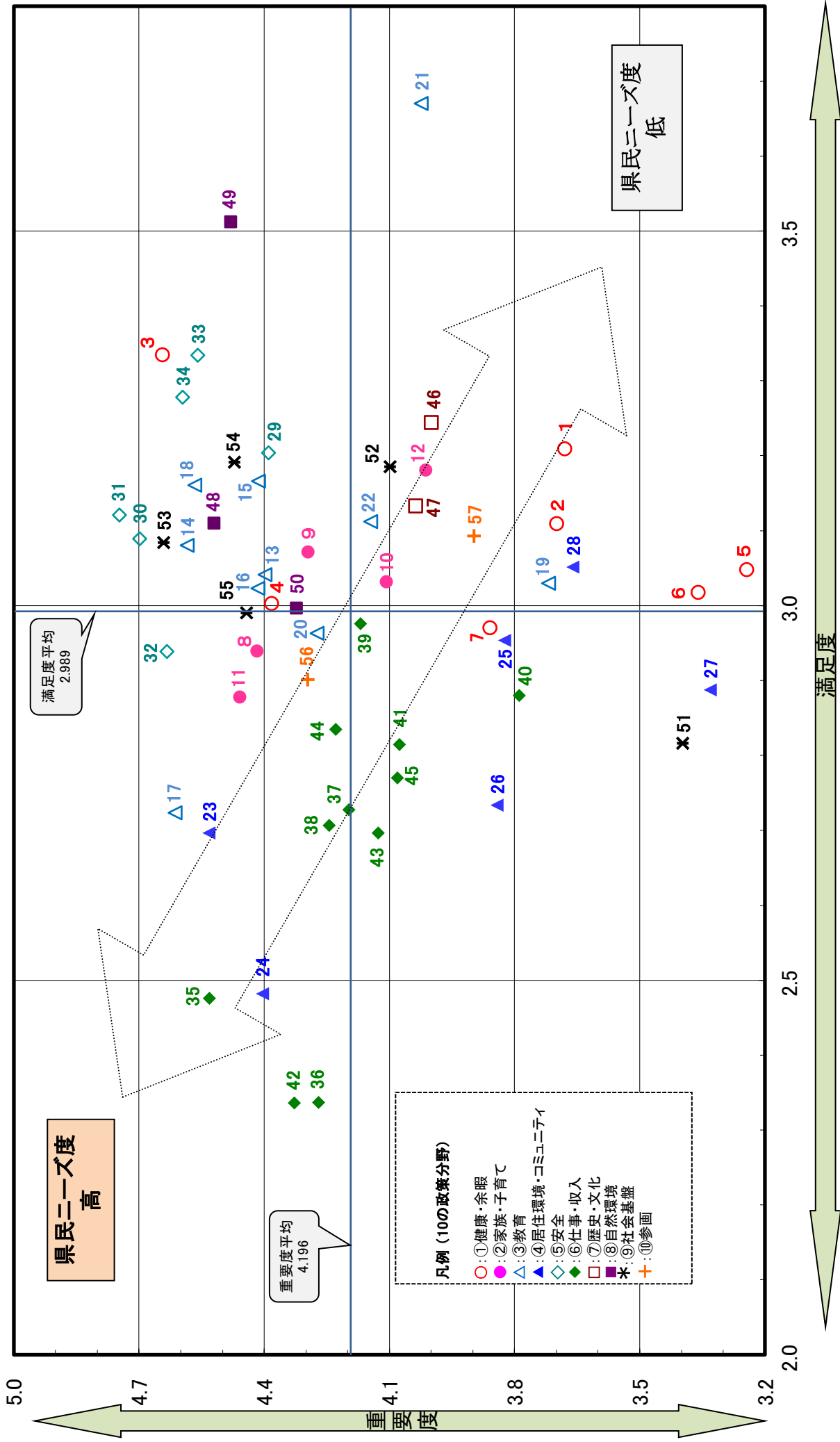
〔用語の説明〕

重要度(平均)：「重要」を5点、「やや重要」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重要でない」を2点、「重要でない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

満足度(平均)：「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

ニーズ度：重要度(平均)－満足度(平均)
(重要度が高く、住民の満足度が低い状態を(行政)ニーズが高いと読む)

(参考2) 問2の項目別の重要度と満足度の関係



※1 ー は各項目の平均値 (重要度: 4.196、満足度: 2.989)

※2 上の図内の番号は、前頁の表の調査項目番号と一致。

(参考3)問2の各調査項目のニーズ度の高い順

No.	項目名	ニーズ度(=重要度-満足度)		(参考)	上段:重要度 下段:満足度			
		1	2		1	2	3	4
35	安定した就職環境		2.055				2.476	4.531
42	農林水産業の担い手確保		1.991				2.336	4.327
36	商店街のにぎわい		1.932				2.337	4.269
24	公共交通機関の維持・確保		1.922				2.482	4.404
17	いじめや不登校への適切な対処		1.889				2.724	4.613
23	生活基盤整備などが進んだ生活環境		1.835				2.697	4.532
32	消費者トラブルへの適切な相談や支援		1.693				2.939	4.632
31	交通事故の少ない社会づくり		1.625				3.122	4.746
30	犯罪への不安の少ない社会づくり		1.609				3.090	4.698
11	仕事と生活を両立できる環境		1.581				2.878	4.459
53	災害に強く安心して暮らせる県土		1.556				3.084	4.640
38	県内経済の活性化		1.536				2.707	4.243
14	人間性豊かな子どもの育成		1.503				3.081	4.584
8	安心な子育て環境整備		1.477				2.940	4.417
37	中小企業の成長・発展		1.468				2.728	4.196
55	社会資本の維持管理		1.451				2.991	4.442
43	ニーズにあった農林水産物の産地形成		1.430				2.697	4.127
48	自然環境を大切にしたい生活		1.410				3.110	4.520
18	子どもが安全・安心に学ぶことができる環境		1.405				3.161	4.566
56	個性と能力を発揮できる社会の実現		1.394				2.902	4.295
44	農林水産物の販路拡大		1.394				2.835	4.229
16	全ての子どもが学べる環境		1.391				3.023	4.414
4	住み慣れた地域で生活できる環境		1.378				3.003	4.382
13	子どもの学力向上に向けた教育		1.356				3.042	4.398
50	温暖化防止の取組		1.325				2.997	4.323
34	感染症に対する備えが整っている社会		1.317				3.278	4.595
45	活力ある農山漁村の形成		1.310				2.771	4.080
20	次世代を担う人材育成		1.310				2.963	4.273
3	適切な医療体制		1.309				3.335	4.644
54	交通や物流の拠点に通じる道路整備		1.279				3.192	4.471
41	魅力ある観光地づくり		1.260				2.815	4.075
15	子どもの体力向上や心身の健康保持		1.247				3.167	4.414
33	購入する食品の安全性に不安を感じない環境		1.224				3.335	4.558
9	子どもの育ちと学びに関する学校、家庭、地域の連携		1.223				3.072	4.295
39	地域資源を活用した製品開発・販売		1.192				2.976	4.168
29	地域の協力による防災体制づくり		1.185				3.204	4.389
26	移住・定住を増やすための取組		1.108				2.734	3.842
10	地域全体での青少年の健全育成		1.076				3.032	4.108
22	大学の地域社会貢献		1.032				3.112	4.145
49	ごみ減量やリサイクルの定着		0.967				3.513	4.480
52	情報通信技術の活用		0.912				3.186	4.097
40	海外での県産品の販路拡大		0.908				2.880	3.788
47	郷土の歴史や伝統文化が受け継がれる環境		0.904				3.133	4.037
7	自分に適した内容や方法で学べる環境		0.888				2.970	3.859
25	つながりや活力を感じられる地域コミュニティ		0.870				2.954	3.824
12	ペットなど動物のいのちを大切にする社会		0.831				3.181	4.012
57	市民活動や県民活動に参加しやすい社会		0.803				3.093	3.897
46	世界遺産を守り将来に伝えていくための取組		0.754				3.245	3.999
19	特色ある私学教育の充実		0.688				3.030	3.718
28	文化芸術・スポーツを生かした地域づくり		0.608				3.052	3.660
2	心の健康に関する相談・支援		0.589				3.110	3.698
51	外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組		0.579				2.817	3.396
1	身体の健康に関する相談・指導		0.470				3.209	3.679
27	外国人も暮らしやすい社会		0.443				3.331	4.023
21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍		0.353				2.888	3.670
6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会		0.342				3.018	3.360
5	日常的に文化芸術に親しむ機会		0.195				3.244	3.048